

堀内 孝子 選

特選

閉じられる学校最後の卒業生私一人が送られて行く

庄原市立庄原中学校二年 土居 穂香

【評】最後の卒業生は自分ひとり。学校も廃校になるという。多くの思い出と淋しい気持ちが続いてくる。

さつそうとえさを運ぶ親ツバメ日増しにふくらむ五羽の子ツバメ

呉市立川尻中学校二年 笠岡 千尋

【評】ツバメの様子をよく観察している。動物に心を寄せ、成長していく様子が嬉しく感じられる。

悲しげにひびくなき声おりの中母と訪ねたピースワンコ

庄原市立庄原中学校二年 清水 雛愛来

【評】保護犬だろうか。おりの中で悲しそうに鳴いている犬。動物を思いやる優しい気持ちが続いてくる。

わあすごいのでがちんとなげとばすかぶとむしのひっさつわざだ

庄原市立東小学校一年 秋山 恵愛

【評】かぶと虫が戦かっているのを見て、感動した様子が生き生きと表現されている。ワクワク感がある歌。

しまなみの海に浮かんだ島々と夕日が重なる秋のキャンバス

盈進中学校二年 田中 拓磨

【評】夕日が瀬戸の島々を染めながら、広がっている。まるで絵画を見ているようで情景が浮かんでくる。

核兵器どうしてあるの考えて君の今より僕らの未来

福山市立城北中学校一年

新田 暁

新学期不安だったのが嘘みたいここのクラスでほんとに良かった

福山市立誠之中学校二年

磯崎 結真

鏡にはうらの自分をかくせずにぼくを見ている鏡のぼくが

庄原市立高野小学校五年

馬船 清太

日光がナイフのように尖る夏日陰を渡る私はくノ一

呉市立仁方中学校三年

竹内 絢音

いつもより大きく見える満月が黒い紙から切り取ったみたい

呉市立広中央中学校二年

井上 結菜

工事後の生物のいない川を見てこいしくなった昔の川が

廿日市市立大野中学校二年

下瀬 遥斗

風りんのやさしい音色が耳ささやく小風ではしゃぐ子どものように

三次市立八次小学校四年

中村 杏子

コロナ禍でみんなの笑顔みれるのはマスク外せる体育の時

三次市立作木中学校二年

志摩 萌花

春風が桜花びらちりばめて道に落ちゆく命のかけら

比治山女子中学校三年

畑中 愛菜

全員が静まり見つめたその先に大きなアーチをえがく白球

呉市立呉高等学校三年

川内 龍哉

空高く打ち上げられる夏模様夜の沼田川光輝く

県立尾道北高等学校一年 砂原 彩葵

春の朝南部大会九人であふれる勝利こぼれる笑顔

三原市立久井中学校二年 樋口 沙那

いもうととばばといっしょにかくれんぼてれびのよこでじつとしてたよ

三次市立栗屋小学校二年 下奥 彩華

あかちゃんがうまれたんだよおんなの子六人きようだいにぎやかなんだ

庄原市立高野小学校二年 向田翔太朗

雛の子が翼を広げ巣立ちするまだ見ぬ未来へ大きくはばたく

廿日市市立大野中学校二年 永田ゆうき

一日の楽しいくらしのありがたさ思い知らされるウクライナ十の都市

呉市立蒲刈小学校五年 大倉 綾仁

あじさいの咲く季節には雨がふるポロポロびびくハープのように

尾道市立向東小学校五年 伊藤 碧

ドローン飛ぶトンボのように舞う姿空を見上げた理科室の僕

呉青山中学校二年 北岡 春樹

夜の町祭さわぎの人の声うち消す空にたくさんの花

府中市立上下中学校二年 川上 日斗

海開き水面かがやきすきとおるゴーグルごしに魚たくさん

三次市立八次小学校六年 二重 和真

堀内 孝子 選

特 選

抗ガン剤治療始まる我が娘抜ける運命の髪を結いやる

さだめ

広島市 山口 順子

【評】抗ガン剤治療を受けられる娘さんを見守る作者。結句にやるせない
思いと、回復を願う気持ちが含まれている。

廃校にIT企業が出店す老いで賑わうスマホ教室

竹原市 入駒 智子

【評】廃校の後を利用して出店したIT企業。住民もスマホ教室に通い、
賑わう様子が伝わる楽しい歌。

被災してこの地に移り新しき終の棲家に望みを託す

広島市 岡本 洋美

【評】毎年どこかで起こる災害。被災してようやく落ちついた新しい土地
で生きようとする希望が伝わってくる。

戦争の映像続く日々の中つばめは三羽の雛を育む

三原市 小白 照子

【評】 日々伝えられるウクライナ状況。つばめの様子を見ながら、平和を願う気持ちが見とれる。

被爆死の妻の髪留さがしあて十日の後に伯父も逝きたり

三河市 堂本 明美

【評】 幾万の人の命を奪った原爆。その焼け跡を必死で探すご家族。戦争の悲惨さと、空しい思いが伝わってくる。

サカスタの工場場に聳える鋼鉄の七基の鶴^{クレーン}がドームと語らふ

山村の深き緑に埋もれたる木造校舍幻となる

ひと夜かけ窓の下まで来し蟬か足搔^あくかたちのままなる骸^{むくろ}

母の瞳^めは戦死の父を想うとき光届かぬ湖底を映す

歌いつつ身体全体バネにして幼は見せるキレキレダンス

ウクライナ黒き大地に向日葵は陽射しに向けて大地を掴む

隠された行間の想ひよむごとく目と目で話すマスク会話は

施設にて兄と別るる時に言う「また来るね」今日納骨あとも

戦争はいつ終はるのか水槽の目のなき魚の前に佇む

母さんとこの世の別れのはずなのにただ吸う息と吐く息僕は見つめて

三次市 磯井ふみ子

広島市 大澤 優子

福山市 若林美知恵

庄原市 古家八千代

安芸高田市 西山 千昭

呉市 中島 義夫

広島市 森 ひなこ

呉市 田村美知子

安芸郡海田町 光岡 詔子

竹原市 栄谷 和則

ひび割れた田圃に蛙は見あたらずそれでも鷺は降りてたたづむ

三次市 眞丸 利子

雪掻きのいらぬ土地へ父母の墓を移してコスモスの風

広島市 小都 妙子

食べたいと胃瘻の夫に泣かれては乾いた口をゆつくりと拭く

江田島市 住田 照水

この線路つたい逃れし人数多廃線の今語る人無く

三次市 山本 圭子

炭を焼く父と登りし所山ふる寺まもるしだれの桜

廿日市市 山田 宣昭

稜線を真赤に焦がす陽に惑ふいくさなき世を祈る八月

三次市 林 勝子

ウクライナ人事でなし大国が家に土足で踏み入る恐怖

三次市 林 章子

次々とホテル、マンション聳え立つ我が家はまるでビルの坪庭

広島市 小坂 修

プーチンは生まれ変わるかヒトラーの我欲のままに民殺戮す

福山市 井西 康治

父のぶん母の分をと原爆忌学徒の姉の六倍を生き

呉市 丹羽 多みこ